

いっぽいっぽ

令和7年度 通級指導教室おたより

11月号



東小通級指導教室（あおぞら教室）

☎ 992-0049（東小代表）

993-4463（東小通級教室）

あおぞら① つちや ひろし
土屋 大
あおぞら② ほんま やえ
本間 弥重

校庭の木々も色づき始めました。あおぞら教室前の廊下掲示も秋バージョンになりました。ハロウィンの飾りや折り紙、紅葉した葉やトンボの切り絵、きのこ、リンゴ、カキ、ブドウなどの秋の味覚の折り紙などさまざまです。手先を使った作業が苦手なお子さんもありますが、「大丈夫！いっしょに作ってみよう！」と声をかけ、担当といっしょに作っています。最初は不安そうだった子も完成が近づくと目が輝きます。自分で折りたい作品をクロムブックで調べ、折り方を検索する子もいます。ちょっとしたきっかけで、やってみようと思えることはうれしいことです。子どもたちの「やってみたい！」気持ちを認め、サポートしていきます。

11月の行事予定

月	火	水	木	金	
10/27	28	29	30	31	
		オープンスクール 通級保護者面談			
11/3	4	5	6	7	
祝 文化の日			社会科見学（4年）		
	通級保護者面談				
10	11	12	13	14	15(土)
	運動会全体練習①	運動会全体練習②	運動会全体練習（予備日）	運動会準備 午後 通級なし	運動会
通級保護者面談					
17	18	19	20	21	
運動会代休					
24	25	26	27	28	
振り替え休日	委員会活動	入学準備説明会 （新1年生）		クラブ活動(3年生見学) 薬学講座（6年生）	
12/1	2	3	4	5	
書き初め教室（6年生） 持久走自由参観週間	書き初め教室（5年生）	書き初め教室（4年生） 特5日課	書き初め教室（3年生） 特5日課	特5日課	

<お知らせとお願い>

10月29日（水）～11月13日（木）の間で通級の保護者面談を実施します。面談アンケートへのご協力ありがとうございました。お子様と担任にも同様のアンケートを実施させていただいています。アンケート結果をふまえ、来年度の意向について相談させていただきます。お子様のアンケート結果については通級ファイルにとじてあります。まだ、実施できていないお子さんは、面談までには実施する予定です。面談前にファイルをご覧ください、来年度に向けてのお子様の気持ちを確認しておいていただけるとありがたいです。

裾野市PTA 連合会主催の講演会に参加してきました。瀏上先生からいただいた資料を中心に紹介します。最後には、保護者の方の感想も載せました。ご協力ありがとうございます。

「平成は発達障害の時代 令和はトラウマの時代」 西村医院 瀏上佐智子氏

昔の常識・今は非常識…演題からして、ここが瀏上先生が最も伝えたいことかな。

◆叱る：叱りつけても人の気持ちを读むことが苦手なため、具体的な望ましい行動が理解できない。逆に叱られた恐怖がトラウマとなることもある。

◆罰する：子どもの持つ特性は罰を与えたり強制したりしても改善しない。特性を理解し支援や配慮をする方が望ましい行動につながる。

◆がんばらせる：がんばっても成果に結びつきにくく、がんばらせ続けてもつらい
なるだけ。失敗を繰り返しては自尊心も傷つく。



記憶に

♡子どもに話しかけるときの→常に肯定的な表現で。「～します。」と短く言う。目線を合わせて。優しい声で。具体的に完結に指示する。 △～しちゃだめ。

♡できれば減らしたい行動には→無視をする。無視をすると一旦その行動は増える。望ましくない行動が止まったり、好い行動ができたりしたらすかさずほめる。(無視をするがほったらかさない。)

♡癇癢やパニックなどの不適切(許しがたい)な行動に対してはタイムアウト…本人をその場から離して静かな場所で落ち着くのを待つ。パニックを起こしている間は、決して視線を合わせない。怒ったそぶりは見せない。(無関心な表情をすることが大切)。パニックが終わったら必ずすぐほめて穏やかに話を聞いてあげる。

♡暴言・暴力→気分を変える声掛け(例:「これ手伝ってくれない?」)他の人が声を掛けると効果的。加害行為についてだけ問題にし、理由は問題にしない。相手がある場合は、相手の希望を聞いて謝罪し、謝れたことを評価。暴言、暴力等をしなかった場合は、どんな未来があるかを想像させる。
※ダメなことはダメというぶれない姿勢が大事



♡困った行動を起こしたときは、褒めるための無視をする

一言「いけません」と短く叱る。クールダウン場所に連れていく。静かになったときに初めて目を合わせる。気持ちを切り替えたらすぐに褒める。切り替えられたことを褒めて抱きしめる。

興味深かったのは、たくさんのワークが準備されていたことです。正解はないとのことでしたが、お家で考えてみるのもよいかもしれません。(課題1 落ち着くための my ガイドを作りましょう。①子どもに対して怒りが爆発するのはどんな時?②怒りがわいたときに、自分自身で感じるサインは?③落ち着くために取っている行動は?)

子どもにやってもらいたいときや直してもらいたいとき「あなたが(YOU)が困るんだよ。」等子どもを主語にして話していましたが、「お母さんは(I)はこう思っているよ。」等アイ(I)メッセージで伝えることの大切さを知りました。また、そのためには親も自分の意見を持っていなければならないとも伺い、自分も子供と一緒に考え成長していかなければなあ…と思いました。瀏上先生のお話を伺うと、その時は気を付けるのですが、しばらくするとまたマイナス行動をしていて、また瀏上先生のお話を伺ってハッと気づかされます。

※参加された保護者の方の感想です。